

勤怠管理システム システム要件一覧表

1. システム環境

No.	機能名	システム要件
1	サーバ	<ul style="list-style-type: none"> サーバ構成が複数になる場合は、ディスプレイ切替え装置による対応を可能にすること。 病院サーバー室内のサーバーラックに搭載すること 読み込み速度が24倍速以上のCD-ROMドライブを有すること。
2	ネットワーク(事務系ネットワーク)	仕様書「5. システム・ネットワーク全体概要図」の通り、勤怠管理システムは別途調達する事務系ネットワークインフラ（以下、事務系ネットワーク）で動作することとし、既存のルータやその他ネットワーク機器に対し、大規模な機器追加・交換や設定変更が極力発生しないよう留意すること。
3	ネットワーク(拠点と回線)	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書「5. システム・ネットワーク全体概要図」の事務系ネットワーク概要図を参照し、ネットワーク接続拠点および接続回線について、システム設計の際に考慮すること。 100BASE-TX/1000BASE-Tに対応するネットワークインターフェースを有する。
4	ネットワーク(セキュリティ)	導入システムのサーバ群、管理端末等のネットワーク設計および必要なセキュリティ機器やネットワーク機器について導入、設定等を行うこと。また、事務系ネットワークと本システムサーバ群との接続箇所にファイアウォールを設け、他システムとの相互通信制御を適正に行うこと。
5	ネットワーク(機器)	本システムは事務系ネットワーク上で運用するものとし、事務系ネットワークエッジスイッチ以降の接続について必要なLAN機器を設置するものとする。 【必要な機器】 ・ダムスイッチ 2台（6ポート以上、100BASE-TX/1000BASE-Tに対応）
6	上位互換性	<ul style="list-style-type: none"> サーバのOSは、Microsoft Windows Server 2008 R2 またはこれと同等以上の機能を有するものとする。 クライアントOSは、Microsoft Windows 7 以降で本システムに支障なく使用できるものとする。 ブラウザのバージョンは、Internet Explorer 9 またはこれ以降で本システムに支障なく使用できるものとする。 データベース等、ミドルウェアに関しては一般に広く普及している製品を使用し、提案時にバージョンアップ情報がすでに提供されている場合には、それにも対応できるようにシステムを構築すること。
7	LANケーブル	勤怠管理システムで調達する機器に接続するために必要となるLANケーブルを用意すること。
8	無停電電源装置	停電等を感じ、自動的に正常なシステム停止を行う制御機能及びON/OFFスケジュール設定による運用管理機能を有すること。
9	プリンター	<ul style="list-style-type: none"> 導入システム稼働させるプリンターは6台とする。（市民病院3、せのお病院3） A3、モノクロプリンターであること。 2つ以上の給紙カセット及び両面印刷ユニットを有し、用紙サイズの自動切換え機能を有すること。 両面印刷、集約印刷ができる機能を有すること。 接続はローカル接続を想定している。
10	端末要件	<ul style="list-style-type: none"> 導入システム稼働させる端末は13台を用意すること ディスプレイ装置は、TFT方式対角15インチ以上とする 入力装置は、キーボードとする マウスは、2ボタン式ホイールマウスとする フロッピーディスクドライブは、外付け3.5インチフロッピーとする インストールソフトは、Microsoft Office Professional 2010 またはこれと同等以上の機能を有するものを納品すること CD-ROMドライブを有すること 端末はノートパソコンを用意すること PDFリーダーをインストールした上で納品すること クライアント再セットアップ用のCD-ROM等を1セット用意すること

11	冗長化	磁気ディスク構成を冗長化し、ハードディスク障害からデータの保護が可能であること。また、ハードディスク障害時には、システム稼働中（継続的に業務を実施）においても、ディスク交換を可能とし、極力業務に対し支障をきたさないこと。
12	システム拡張性	導入システムは、その導入後における稼働時間延長、ユーザ数増加、処理件数増加、ネットワーク高速化などに起因するシステム拡張について柔軟かつ迅速に対応できる構成・仕様であること。
13	データベース	データベースは、Oracle、SQLServer、DB2等の国際基準の製品を使用し、メーカーのサポートが終了しているデータベースは使用しないこと。データベースインストール時のパスワード設定は、デフォルト値は使用せず、本市の承認を受け設定すること。
14	開発言語	開発言語は、提案時にメーカーのサポートが終了している開発言語は使用しないこと。
15	安定稼働	システム基盤の前提条件として、下記の項目に十分配慮し、安定稼働するものを提案すること。 1 信頼性 2 可用性 3 保守性 4 汎用性 5 拡張性
16	データ容量	サーバのディスク装置には、以下のデータ件数で6年分のデータをシステム内に保持し、データを利用できる容量を有すること。データ件数はマスタ登録件数が職員数2,000件（退職者情報は保持すること、またバージョンアップにより最大5,000人）に対応すること。

2. 性能要件

No.	機能名	システム要件
1	処理時間(バッチ)	導入システムのバッチ処理の必要時間（バッチ起動から終了までの時間）は、実用に耐えうる範囲とすること。
2	稼働率保証 (冗長性と保守体制)	稼働率確保のため必要と思われる冗長性を導入システムに確保すること。また、必要な運用保守体制を整えること。

3. 文字管理

No.	機能名	システム要件
1	使用文字コード	プラットフォームに依存せず、また、市販の表計算ソフト、データベースソフトでも使用できる文字コードであること。

4. データ連携

No.	機能名	システム要件
1	データ連携(人事給与システム1)	人事給与システムから取り込む職員の基本情報（退職者を含む、個人コード、所属コード、名前、性別、生年月日、入社年月日、退職年月日、退職フラグ）はc s v形式にて取り込みを可能とすること。
2	データ連携(人事給与システム2)	人事給与システムへのデータ（宿日直データ・夜間勤務データ・特殊勤務データ・時間外勤務データ）受け渡しができること。
3	データ連携(勤怠データ受渡ツール1)	岡山市総務システムで使用しているデータ（宿日直データ・夜間勤務データ・特殊勤務データ・時間外勤務データ）受け渡しツールに対応ができること。（富士通製岡山市総務システムへの受渡）
4	データ連携(勤怠データ受渡ツール2)	看護管理システムで使用しているデータ（宿日直データ・夜間勤務データ・特殊勤務データ・時間外勤務データ）受け渡しツールに対応ができること。（富士通製岡山市総務システムへの受渡）

5. データ移行

No.	機能名	システム要件
総論		既存システムとのデータ連携におけるインターフェース仕様、文字コード体系、文字コード変換主体等については、相手方システムベンダーとの協議により、他の方法による方が双方にとって効率のよい方法とする。（S-IISを想定し
1	職員基本情報移行	旧システムの職員基本情報の取込を可能とすること。
2	職員履歴情報移行	旧システムの職員の休暇情報を取り込み可能とすること。

6. システム開発

No.	機能名	システム要件
-----	-----	--------

1	プログラムバグ対応	パッケージソフトおよびカスタマイズ部分に関するプログラムバグに対応すること 業務内容には以下のものが含まれるものとする バグ対応版ソフトの開発 バグ対応版ソフト導入に関わる影響範囲分析作業 導入作業（影響範囲分析結果に基づくメンテナンス作業含む）
2	システム導入・ソフト設定 (インストール)	貴社が導入するパッケージソフトを使用する上で必要となるインストール・設定等を行うこと。

7. 画面操作

No.	機能名	システム要件
1	画面構成 (必須項目)	入力必須項目については明確にわかりやすく構成されており、画面スクロールが少なく必要な情報が一画面でわかるレイアウトであること。
2	操作性 (統一操作)	各システムにおける入力・照会・統計・帳票出力等の操作性を統一させること。

8. 検索

No.	機能名	機能要件
1	検索	導入するシステムでは、操作利便性を向上させるために、必要な場面で効率的な検索ができること。
2	検索方法	勤怠管理システムで管理している情報を、自由に選択し、指定した条件で帳票およびCSV形式での出力を可能とすること。
3	検索方法	指定した条件での集計結果の出力を可能とすること。

9. 権限

No.	機能名	システム要件
1	パスワード機能	システム起動時のログイン画面においては、ユーザーID・パスワードが一致した場合のみ起動を可能とすること。
2	パスワード設定	パスワード設定時に、桁数（ある程度の桁数設定）、大文字小文字混在等のチェックが可能とすること。
3	ユーザーID一覧表示	ユーザーIDが確認できる一覧表の出力が可能とすること。
4	所属に付く権限	所属毎にシステムの処理権限が設定可能であること。
5	担当に付く権限	システム運用に関しては、ユーザーIDごと（ユーザのグルーピング設定ごと）に、すべてのプログラムに対する利用可否設定を可能とすること。
6	処理権限者の変更	処理権限を有するユーザーIDは、人事異動に伴う変更等の管理を行うこと。
7	システム管理者	システム管理者権限とユーザ権限を設定し、システム管理者権限を持ったユーザのみハードウェア・ソフトウェアの設定を変更できること。

10. セキュリティ

No.	機能名	システム要件
1	不正アクセス対策	今回導入するシステムとして、不正アクセス対策を講じること サーバに対する情報の盗聴、情報の不正コピー、改ざん、破壊、不正な削除などの不正アクセスへの対策を講じること。
2	ウイルス対策	今回導入するシステムとして、ウイルス対策を講じること。ウイルス対策ソフトはサーバ、端末ともに準備しインストールすること。 (旧来および最新のウイルスに対する対策)
3	情報漏洩対策(全般)	今回導入するシステムとして、機密情報漏洩対策を講じること。
4	情報漏洩対策(端末)	情報漏洩のリスクを低減させるため、データベースサーバで保持しているデータについて、特別な権限のある者が特別な端末で意識的に行わない限り、導入システムの端末には、データ保持しない仕組みを講じること。 端末の各種キャッシュデータからもデータの再現が出来ない仕組みであること。
5	暗号化	サーバ内の保存データ、バックアップデータや外部媒体への保存データにはデータ暗号化を実施することができること。
6	障害対策	今回導入するシステムとして、障害対策を講じること。（問い合わせ対応、連絡から到着までの時間、対応可能な時間帯、ハードウェア障害、システム障害など） なお、リモートメンテで対応する場合は、専用回線で処理することとし、回線費用は（初期費用、回線使用料）及び必要な機器については運用保守契約内で対応すること。

11. データ保全

No.	機能名	システム要件
-----	-----	--------

1	バックアップデータ格納装置	バックアップデータ格納装置については、以下の要件を満たすこと <ul style="list-style-type: none"> ・テープライブラリ等の電子媒体装置を最終的なバックアップ先として利用すること ・システムが使用するDBMSの無停止・オンラインバックアップに対応していること ・性能、安定性、信頼性、保守性に優れたソフトウェアや外部記憶装置であること
2	バックアップ方式	バックアップ方式については、以下の要件を満たすこと <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップデータの世代管理ができること ・バックアップ運用を自動化すること ・フル、差分、増分バックアップが行えること ・業務に影響を与えることなく行えること
3	バックアップ管理機能	システムやデータのバックアップ、リストア（データバックアップ時のディスクイメージまでのデータ）、スケジューリング、ログ確認、エラー通知など、サーバのバックアップ運用に関して、一元的かつ効率的に管理できる仕組みがあること。

12. 運用

No.	機能名	システム要件
1	サーバ監視機能	サーバ機器の稼動状態（NW疎通、OSやサービス、リソース、CPU負荷等）を定期的に監視すること。
2	オンラインアクセスログの記録	導入システムは、そのオンライン使用状況（いつ、どの端末から、誰が、誰の、何の情報を、どうしたのかなど）のアクセスログについて記録すること。
3	バッチログの記録	起動方法に関わらず、起動されるバッチ（一括）処理について、処理時間や処理結果などバッチ処理の進行および結果に関する状態を確認できるログを記録すること。
4	サーバ間通信ログの記録	DBとアプリや連携システム間など、サーバ間で通信しているシステムやサーバについて、その状況をログとして記録すること。
5	その他ログの記録	サービス起動・停止や、管理コンソール使用状況など、運用管理上また安全対策上必要なログを記録すること。
6	その他ログの確認	アプリケーションやセキュリティ機器、各種監視ツールに異常な記録がないか確認すること。
7	クライアント管理	システム端末について、利用者やコンピュータ名等システム構成上必要な情報について管理すること。
8	サーバ室内環境管理	サーバ設置場所等LAN配線について、配線番号と接続機器・接続ポートなどを管理すること。
9	問い合わせ支援	システム管理者からの問い合わせに対しては通常9時～17時までの時間において対応すること。（メール、電話を想定している）
10	バッチ処理支援	業務担当者などの要請に応じ、データ更新を伴うバッチ処理について作業支援、立ち会いを行うこと。
11	EUC支援	業務担当者ごとの要請に応じ、クライアントサイドのデータ加工処理などの技術支援、作業支援を行うこと。
12	移行支援体制	本番稼動開始後からか機能等の正常な運用が確認できるまでの間は、病院の求めに対して即時対応可能な支援体制を構築すること。

13. 保守

No.	機能名	システム要件
1	障害事前対策	障害の発生に備え、データ等のバックアップ、入力トランザクションの保持、DBログの採取等を行うこと。 サーバ機器については、設定完了・変更時点でのバックアップを作成すること。
2	障害保守	職員等からの障害連絡を受け、状況の把握等を行い、障害箇所の特定を行うこと。また、必要部署への連絡を行うこと。 受託者が開発・納入したシステムの障害については、影響範囲の調査、即時対処。納品した情報システムの障害については、影響範囲の調査、即時対処、根本対応を行うこと。 サーバ等のハードウェアおよびOS等の障害、ネットワーク障害については、復旧対応作業についてベンダーへの指示および全体の進捗管理を行うこと。 復旧後にアプリケーションをはじめとする各種ソフトウェアやデータの復旧作業を行うこと。

3	障害事後対策	収集した障害情報を基に原因を分析し、同様の障害が発生しないように是正処理・予防措置を講じること。避けられない障害の場合でも業務への影響を最小限にすべく対策を講じること。また、原因、影響範囲、対処方法、再発防止策を取りまとめ、障害報告書として報告すること。
4	保守範囲	本システムで利用するハードウェア、ソフトウェア全ての保守を行うこと。 (期間は5年を想定している)
5	マスタメンテナンス	係数の変更、軽易なものおよびマスタ情報については基本的には職員で構成する運用班でメンテナンスを行うが、必要に応じて随時業者の協力が得られることを要する。
6	瑕疵・不具合対応	瑕疵担保期間経過後の瑕疵、不具合対応については、保守作業として行うこと。
7	運用保守作業	障害対応、および保守対応時に必要な媒体、パソコン等を外部から持ち込む場合は事前に届出を行い、処理開始内容、開始する旨を本市に連絡し、承認を受けてから処理を開始すること。
8	システム管理	本システムにて使用している基本的なソフトのバージョン情報を管理し、システムを適切な状態に保つためのシステム管理作業を実施すること 基本的なソフトは、以下のようなものを指す サーバ OS、DBMS、Web サーバソフト、アプリケーションサーバソフト、その他のアプリケーションが稼動するために必要なソフトウェア製品（帳票作成ツールなど） システム管理作業とは、以下のような作業を想定している。 ・ ソフトウェアのバージョンアップ情報の収集 ・ バージョンアップ・パッチプログラム適用作業
14. マニュアル整備・教育研修		
No.	機能名	システム要件
1	研修場所	職員研修の実施場所については、原則、委託者が準備することを想定している。 ただし、職員研修にシステムリソース（パソコン、サーバ、ネットワーク環境など）が必要となる場合は、事業者の責任の範囲で準備することとする。